

---

# 下水道に関するアンケート調査 調査結果報告書

---

五島市

# 調査概要

## 1 調査目的

五島市では、生活環境の改善や海や河川等の水質保全を図るため、これまで浄化槽を中心とした生活排水処理事業を推進してきた。これと併せて「五島市公共下水道事業」を計画し、早期の事業開始を目指している。

下水道事業を進めるにあたり、市民が下水道事業に対して、どのような意見や希望を持っているかを把握すること、また、地域の特徴にあった効率的で有効な汚水処理の在り方を検討する手立てとすることを本アンケート調査の目的とし、「五島市公共下水道福江処理区」に予定している町内の居住者および富江、玉之浦、三井楽、岐宿、奈留の各地区に居住する者に対し、本アンケート調査を実施した。

以下、A（A地区）、B（B地区）とは、

A（A地区）＝「五島市公共下水道福江処理区」に予定している町内

B（B地区）＝富江、玉之浦、三井楽、岐宿、奈留の各地区をあらわす。

## 2 調査対象・地域

A 五島市公共下水道福江処理区に予定している町内に居住する20歳以上の者

B 富江、玉之浦、三井楽、岐宿、奈留の各地区に居住する20歳以上の者

## 3 調査方法

A 郵送による自記入式調査

B 各支所窓口による自記入式調査

## 4 標本抽出

A 五島市公共下水道福江処理区に予定している町内全世帯

B 各支所来庁者及び各支所職員

## 5 標本数

A 発送数：7,092  
回収・集計数：929（回収率 13.1%）

B 発送数：500 各支所100部  
回収・集計数：209（回収率 41.8%）

## 6 調査実施期間

A 平成21年9月7日（月）～平成21年9月30日（水）  
調査実施期間前後にアンケート調査回答用紙持ち込み分を含む。

B 平成22年1月12日（火）～平成22年2月26日（金）

## 7 調査主体

五島市建設課まちづくり推進係

## 8 地域区分及び抽出数

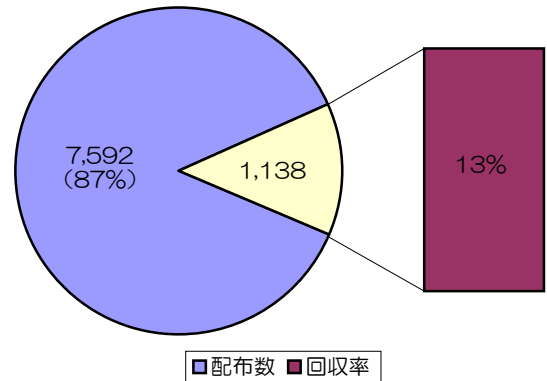
A、Bとも「調査結果」で示す。

# 調査結果総評

## 1 回答者について

五島市公共下水道福江処理区に予定している64町内全世帯（7,092世帯）を対象にアンケート調査を実施し、27町内、929件の回収だった。また、富江、玉之浦、三井楽、岐宿、奈留の各支所に100部ずつアンケート調査票を設置し、支所来庁者および支所市職員を対象にアンケート調査を実施し、209件の回収だった。全体での回収率は、7,592のアンケート調査に対し、1,138の回答、13%の回収率だった。

配布数と回収率



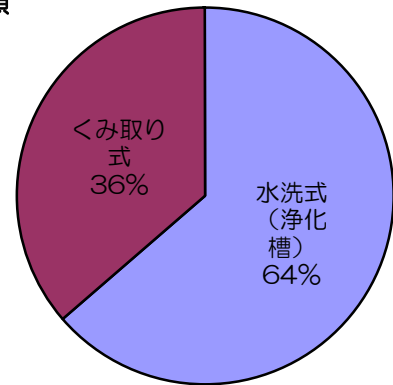
## 2 トイレの種類について

トイレの種類については水洗式（浄化槽）が、全体の64%、くみ取り式が36%であった。富江、玉之浦地区等の支所地区においては、くみ取り式が60%と水洗式を上回った。

### トイレの種類

水洗式（浄化槽）	69%（717件）
くみ取り式	31%（409件）

トイレの種類



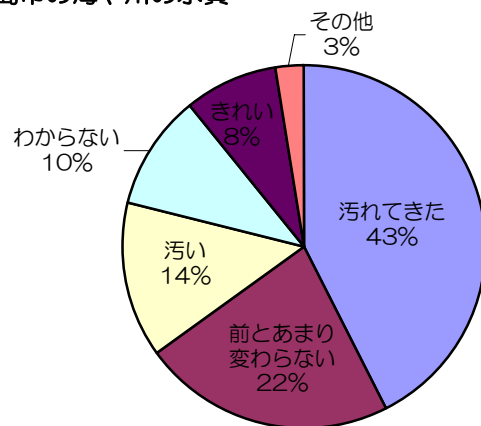
## 3 五島市の海や川の水質について

五島市の海や川の水質については「汚れてきた」が、全体の43%で最多だった。次いで、「前とあまり変わらない」の22%だった。

### 海や川の水質（上位3項目）

「汚れてきた」	43%（469件）
「前とあまり変わらない」	22%（246件）
「汚い」	14%（154件）

五島市の海や川の水質



## 4 五島市の海や川の水質について

海や川の水質をきれいにするための取り組みについては、「下水道の整備と浄化槽の設置」が、全体の60%（665件）で最多だった。次いで、「下水道の整備」の17%（188件）だった。支所地区においては「下水道の整備と浄化槽の設置」に次いで、「浄化槽の設置」が上位項目にあがった。

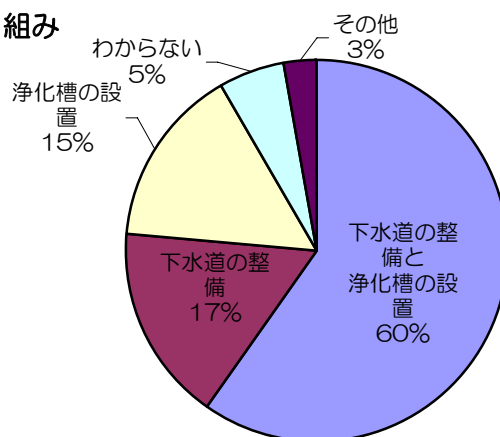
取り組み（上位3項目）

「下水道の整備と浄化槽の設置」 60%（665件）

「下水道の整備」 17%（188件）

「浄化槽の設置」 15%（171件）

取り組み



## 5 下水道整備の必要性と参加について

下水道整備の必要性については、「必要と思う」が、全体の63%（709件）で最多だった。次いで、「わからない」の20%（220件）だった。支所地区においては「必要と思う」に次いで、「必要ないと思う」が上位項目にあがった。

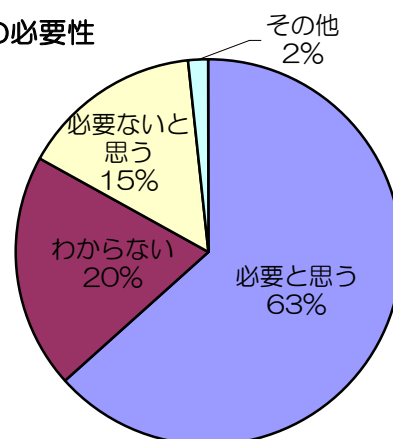
下水道整備の必要性（上位3項目）

「必要と思う」 63%（709件）

「わからない」 20%（220件）

「必要ないと思う」 15%（170件）

下水道整備の必要性



## 6 下水道整備の必要性と参加について

下水道への参加については、「参加する」が全体の59%（653件）で最多だった。次いで、「わからない」の27%（306件）だった。

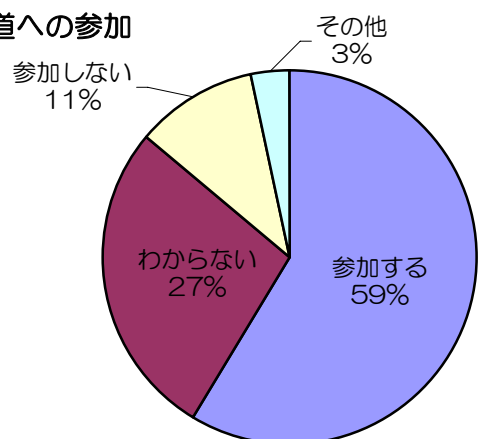
下水道への参加（上位3項目）

「参加する」 59%（653件）

「わからない」 27%（306件）

「参加しない」 11%（118件）

下水道への参加

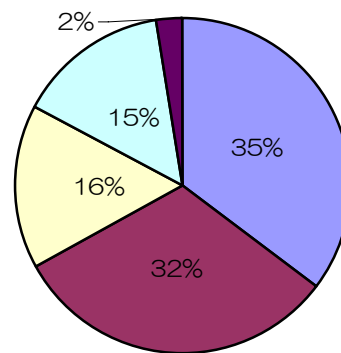


## 7 下水道事業をすすめるうえで必要と思われることについて

下水道事業をすすめる上での必要施策としては、「下水道の使用料金を安くすること」が全体の35%（723件）で最多だった。次いで、「下水道を使用するときにトイレなどの改造費に対する助成制度」の32%（654件）だった。

下水道事業での必要施策  
「下水道の使用料金を安くすること」35%（723件）  
「下水道を使用するときにトイレなどの改造費に対する助成制度」32%（654件）  
「高齢者の下水道の利用に対する使用料金の軽減措置」16%（321件）

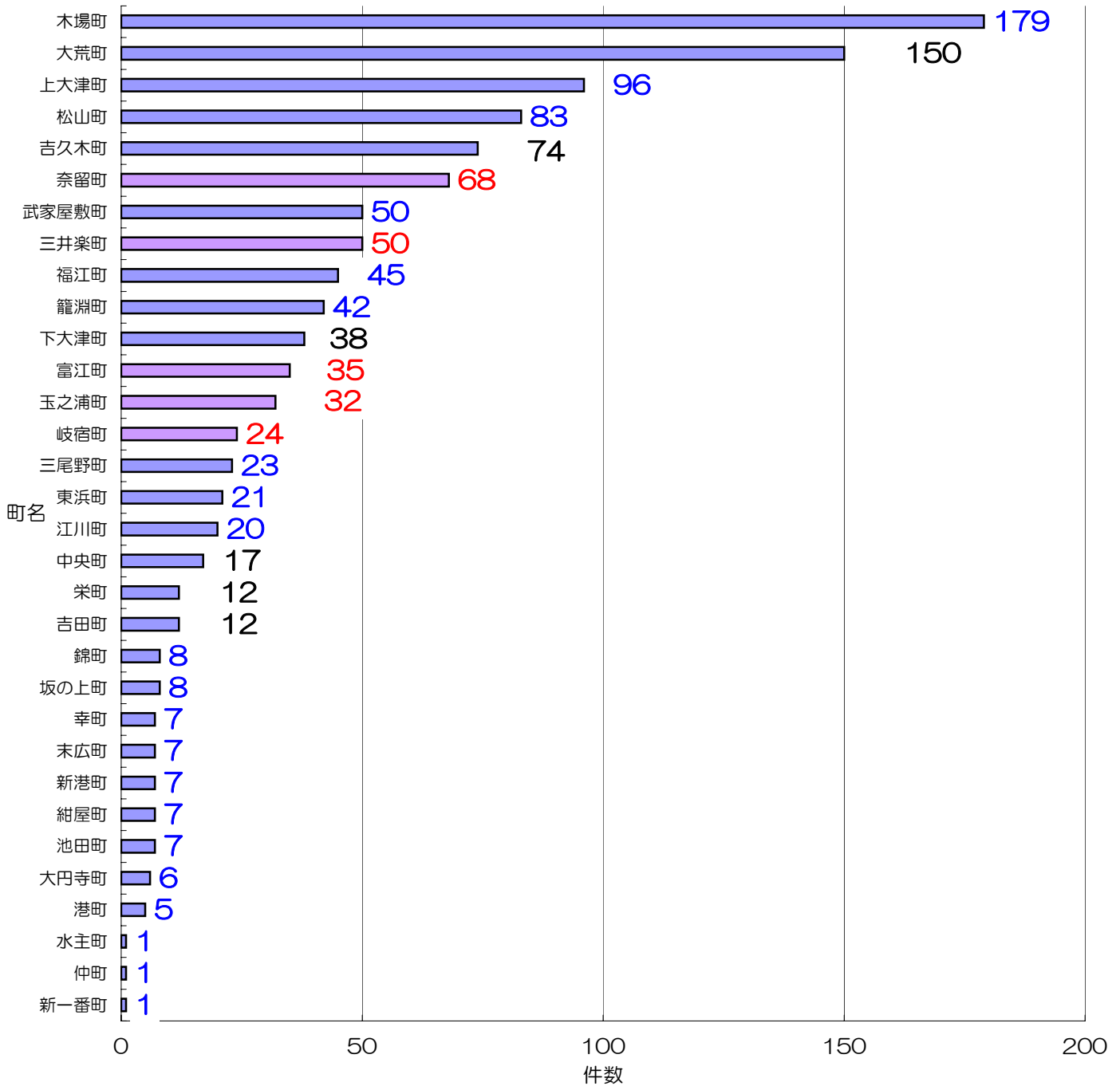
下水道事業での必要施策



- 下水道の使用料金を安くすること
- 下水道を使用するときにトイレなどの改造費に対する助成制度
- 高齢者の下水道の利用に対する使用料金の軽減措置
- 住民説明会や広報誌による下水道事業の情報発信
- その他

# 調査結果

あなたのお住まいについて、お聞きします。



有効回答件数：1,134件（A：926件、B：206件）

「五島市公共下水道事業」計画予定地域である64町内の全世帯（20歳以上の7,092世帯）と周辺5地区（支所地区）を対象にアンケート調査を実施した。A地区においては、179件で木場町が最多だった。B地区においては、68件で奈留町が最多だった。

全体の上位3地区

木場町（179件） 大荒町（150件） 上大津町（96件）

B地区の上位3地区

奈留町（68件） 富江町（35件） 玉之浦町（32件）